

道新杯争奪第56回苫小牧地区小学生サッカー交歓会兼  
フジパングループ Presents 2022 ロバパンCUP  
第54回全道U-12サッカー大会苫小牧地区予選

※新型コロナウイルスの影響により不測の事態が起こった場合についてはすべてにおいて下記の限りではない事を必ずチームにて留意の上、ご参加ください。

1. 目的 苫小牧の少年サッカーで活動している子供たちの一層の心身の向上とサッカー技術の向上を目指し、併せてクリエイティブでたくましい将来のサッカー選手を育成するために本大会を実施し、2022ロバパンCUP第54回全道U-12サッカー大会に苫小牧地区代表として出場するチームを決定する。

2. 主催 苫小牧地区サッカー協会、北海道新聞苫小牧支社

3. 主管 苫小牧地区サッカー協会第4種委員会

4. 期日 7月2日(土)、7月3日(日)

5. 会場 苫小牧市緑ヶ丘公園サッカー場

#### 6. 参加資格

①「参加チーム」は今年度に(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。

②「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で(公財)日本サッカー協会第4種登録選手であること。ただしU-6選手の参加は認めないものとする。

③同一参加選手が異なる加盟チームへの移籍後、再び参加することはできない。

④第4種年代の女子選手については(「クラブ申請」を承認された)同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。ただし、前項③は適用される。

⑤引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であること。また、内1名以上が本協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。

⑥参加選手は健康であり、且つ大会参加に関する親権者の同意を得たものでなければならない。

⑦「参加チーム」は必ず「傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険)等」に加入していること。

#### 7. 参加チーム

①「参加チーム」の構成は、選手16名以内、引率指導者4名以内とする。

#### 8. 競技規則

①(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。

#### 9. 競技方法

①競技方法は次のとおりとする。

・出場チームを6ブロック(3チームブロック×4、4チームブロック×2)に分け予選リーグを行う。

・予選リーグ各ブロック上位1チーム、計6チームと、4チームブロック2位の2位チームの計8チームが、決勝トーナメントへ進出する。

・予選リーグにおける順位の方法は、勝利3点、引分1点、敗戦0点の勝点により、勝点の多い順に決定する。なお、勝点の合計が同一の場合は、以下の項目に従い順位を決定する。

【1】全試合の得失点差(総得点-総失点)

【2】全試合の得点

【3】当該チーム同士の対戦成績(勝敗)

【4】【1】~【3】の全項目において同一の場合は、PK方式(3人)にて勝者を決定する。

・ワイルドカードの進出チーム決定方法は、以下の項目に従い順位を決定する。

【1】全試合の勝点

【2】全試合の得失点差(総得点-総失点)

【3】全試合の総得点

【4】【1】~【3】の全項目において同一の場合は、PK方式(3人)にて勝者を決定する。

PK方式(3人)にて勝者を決定する。

②フィールドの大きさは下表のとおりとし、ゴールは少年用(5m×2.15m)とする。

③試合球は公認球(少年用4号球)を使用する。

④競技者の数および交代

- ・1チーム8人の競技者によって行われる。チーム競技者のうち1人はゴールキーパーとする。
- ・登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となって再び出場することができる。交代の回数は制限されない。
- ・ゴールキーパーは、事前に審判に通知した上で、試合の停止中に入れ替わる事ができる。

#### ⑤競技者の用具

- ・競技者の用具については、実施年度の公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。
- ・選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ・ユニフォームの広告表示については、公益財団法人日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。

#### ⑥テクニカルエリア

- ・テクニカルエリア（ベンチ）に入ることができる人数は、交代要員8名、引率指導者4名とする。
- ・その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。

#### ⑦審判員

- ・主審、副審（2名）、予備審判の4名で運営する。ただし、交流トーナメント・交流リーグの審判に関しては、別途定めるものとする。

#### ⑧試合時間

- ・試合時間は予選リーグ30分、決勝トーナメント40分（決勝のみ30分）とし、ハーフタイムのインターバル（前半終了の笛から後半開始まで）は全て5分とする
- ・規定の時間内に勝敗が決しない場合は、予選リーグと交流リーグでは引き分けとする。順位トーナメントにおいて同点の場合はいわゆるPK方式（3人）で次回戦へ進出するチームを決定する。ただし、準決勝及び決勝では、前、後半5分ずつの延長を行い、なお決しないときはPK方式（3人）で勝者となるチームを決定する。

#### ⑨その他

- ・暑熱下において、前・後半中ほどに飲水タイムを採用する。

### 10. 懲罰

- ・本大会は、大会規律委員会を設ける。
- ・大会規律委員会の委員長は苫小牧地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。
- ・本大会中に警告を2度受けた競技者は、本大会の次の1試合に出場できない。
- ・本大会期間中において退場を命じられた競技者は、自動的にその次の1試合に出場できず、それ以降の処置については規律委員会で決定する。

競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。

- ・本大会諸規定および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

### 11. 組合せ

①U12Lの結果を反映し、U12L 1次リーグ上位4チームをシード分けをして各ブロックに割振る。その後、5位以下のチームをフリー抽選とする。

### 12. 帯同審判

- ①参加チームは、公認審判員（4級以上）を必ず帯同させること。指導者の兼務を可能とするが、審判業務を最優先とすること。
- ②帯同審判員は、要請を受けた大会期間中、審判業務に当たらせるものとする。

### 13. 選手証

①各チームの登録選手は、（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とする。（選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。）

### 14. 開会式

開会式は行わない。

### 15. 閉会式

閉会式は行わない。

### 16. その他

- ①試合開始30分前に本部にてメンバー表の提出とユニフォームチェックを行うこと。
- ②選手の保護者・関係者のマナー遵守（路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ）については、チーム責任とする。
- ③帯同審判で大会を運営するので、各チームは審判割り当てを遵守すること。
- ④天災等による中止の決定は事業委員会で行い、連絡は事務局より行う。連絡のない場合は決行する。
- ⑤苫小牧地区の代表枠は2とし、代表チームには全道大会への参加を義務づける。
- ⑥本大会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営関係者・引率保護者・観客など会場にいるすべての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。また、試合前に各チームの感染対策担当者とのミーティングを実施する
- ⑦本大会における感染対策担当者は4種委員長とする。別途定める新型コロナウイルスに関する事項をチーム内で周知し徹底すること。
- ⑧不測の事態が発生した際には大会実行委員長（4種委員長）により実行委員会を開き協議する。

### 17. フィールドの大きさ

